

1 日常の学習状況・課題について

(1) 期末考査の知識を問う一部の問題の正答率が低かったため指導内容の改善が必要である。

(2) 授業の流れを提示できていないことから、予測を立てることができない生徒が多くいた。作業の工程など提示する必要があった。

(3) 「R80」(※)という方法でまとめの時間を確保することができた。まとめの方法が習慣化できていないことに加え内容にバラつきが見られるため授業内容の改善が必要である。

※ 「自分の考えを 80 字以内で論理的に書く」ことを目的とした文章作成メソッド

2 改善の計画

(1) 振り返り小テストなど、前時の内容が理解できているのか振り返りの機会を多く取り入れる。

(2) Google スライドや黒板、ホワイトボードを活用して、常に今どのような作業をしているのか提示できるようにする。

(3) まとめの方法が習慣化されるように引き続き「R80」を継続し、授業内容の見直しをする。

3 非認知能力を高めるための手だて

(1) 問題解決の学習時に製作物の設計・製作計画を立てさせ、学習を見通せるようにする。

(2) グループ内や全体への発表活動を通して、協調性を高められるようにする。

4 プランの評価方法

(1) 期末考査の結果で判断する。

(2) まとめの内容で判断する。